

図書館通信夏休み号



平成 29 年 8 月号 大泉第二中学校 図書館支援員 菊池

「翔太と猫のインサイトの夏休み

哲学的諸問題への「いざなひ」

ちくま学芸文庫 永井 均 著

2007年

突然、何かを閃（ひらめ）いたような、それでいて何かわけのわからないモノに捕まってしまったような不思議な気持ち。毎年夏になると、私は小学校1年生だったあの夏休みを今でも思い出します。

ある暑い日の夕方近く、庭でいつものようにありの観察をしたあと、突然走り出したくなりました。死んだバツタが仰向けに倒れていると、小さな無数のありたちがその身体を取り囲み、徐々に分解し、バツタの身体を利用して、小さな砦を築いていくのです。ずっと同じ姿勢で前屈みになっていたので、わたしは身体を思い切り動かしなくなったのでしよう。そのまま家の前の坂道を、全速力で駆け下りていきました。走り出したとたん、ふわふわとした不思議な気持ちにいつまれました。そして、「あれ？」「わたしっていったい何？」「わたしはどうしてわたしなの？」「たくさんの人がいるのになぜわたしは私なの？」「わたしって生きているの？」「死ぬってどういうこと？」

次から次に、いろいろな考えが浮かびました。そのまま坂道を下りきったとき、土が軟らかくかたまつた場所に足をとられ、一回転して転んだのでした。今まで思い浮かんだたくさんの疑問について考えることもできなくなり、痛みをこらえながら家に帰りました。

それからしばらくは、ごくたまに「あれ？」と思うことしか無く、平凡で退屈な夏休みが何度も過ぎていきました。中学生になった頃には、そういった「疑問」にも、もうすでに用意されたような当たり前の答えを当てはめて、たくさんの「？」を深く考えないようになっていました。

そんな何回目かの夏がたくさんすぎたある日、1冊の本と出会いました。ああ、わたしはもやもやしたあの気持ちを書かれています本にやっと出会えたのだと、ありがたいような、懐かしいような気持ちになったのです。そう、あのもやもやした考えに「哲学」という名前がつけられていることを知ったのです。

もう何度もすごしてきた夏休みですが今でも、小学校1年生のあの日の、あの感覚を味わった日のことをいつも必ず思い出します。

哲学って何？

14歳からの哲学 考えるための教科書

池田晶子 トランスビュー 2003年

もう自分は「こども」じゃられないのだなと、バスや電車に乗るとき以外に、少しでも自覚した生徒さんにおすすめします。

ルリボシカミキリの青ー

福岡ハカセができるまで

福岡伸一 文春文庫 2012年

ルリボシカミキリを見たことがありますか？生物学者、福岡伸一先生が、その青い色を見つけた瞬間から生命探求にはまっていくながりが伝わってきます。カブトムシやクワガタに夢中になったあの夏休みを思い出しながら読んでください。

絵本 100万回生きたねこ

佐野洋子 講談社 1977年

「100万年も 知らない ねこが いました。
100万回も しんで 100万回も 生きたのです。
…… 100万人の人がそのねこがしんだときなきました。
ねこは 1回もなきませんでした。」
最後にねこはなくなのでしょうか？ どうしてないたのでしょうか？

1年先生方の思い出の本

平成29年 8月 学校図書館 菊池

夏休みに読む本の参考にしてください ~先生方にも中学生の夏休みがありました

A組 数学 森一真先生

Q1 思い出の1冊

(中学・高校時代の本で、その本を読んだきっかけや、夏休みに夢中になっていたこと、興味があったことなど……)

「ルドルフとイッパイアッテナ」 斉藤洋/杉浦範茂 著 講談社
読書をあまりしなかった自分がすごくはまった本です。

Q2 今読んでいる本、またはこれから読んでみたい本

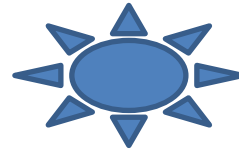
「村上海賊の娘」 和田竜 著 新潮社

Q3 好きな絵本、または好きな映画、漫画

「トゥルーマンショウ」SF映画 1998年アメリカ
「ビッグ・フィッシュ」ファンタジー/コメディ

Q4 好きな言葉

「大切なのは今、この瞬間」



B組 理科 加藤さゆり先生

Q1 思い出の1冊

「不思議な国のアリス」「鏡の国のアリス」 ルイス・キャロル 著
夜中にこっそり鏡に入れたいか、何回も確認しにいきました。だめでしたけど(笑)

Q2 今読んでいる本、またはこれから読んでみたい本

「キサトア」 小路幸也 著 文藝春秋 理論社
不思議な世界の話、わけがわからないけどおもしろい

Q3 好きな絵本、映画、漫画

映画 「ジュラシック・パーク」 シリーズ
マンガ 「ワンピース」 泣けるところはすごく泣ける
「おそ松さん」 6人のキャラがすごい

Q4 好きな言葉

「やまない雨は無い あけない夜は無い」



C組 英語 水野貴太先生

Q1 思い出の1冊

(中学・高校時代の本で、その本を読んだきっかけや、夏休みに夢中になっていたこと、興味があったことなど……)

「エイジ」 重松清 著

中学生の頃の課題図書でした。主人公たちが、当時の自分と同じ中学生というのもあり、登場人物に感情移入しながらわくわく読んだのを今でも覚えています。

Q2 今読んでいる本、またはこれから読んでみたい本

「武士道」 新渡戸稲造 著

国際化が進む現代の中で、今一度日本人の心について考え直したいから。

Q3 好きな絵本、または好きな映画、漫画

「ギルバート・グレイブ」 映画 1993年アメリカ
(若き日のジョニー・デップも出演しています)

家族や自分の将来について考えながら大人として成長する姿に心打たれます。

Q4 好きな言葉

PRACTICE MAKES PERFECT!

何事にもまず練習が大切だと言うことを端的に表しているから。

D組 社会 福田渉先生

Q1 思い出の1冊

本はあまり読んでいませんでした。中・高サッカー部でした。中学ではもっとやりたくてしかたがなかったけれど、高校では一日でも多く雨が降ってほしかったです(笑)

Q2 今読んでいる本、またはこれから読んでみたい本

「思わず話したくなる究極のディズニー」 みっこ 著 ベストセラーズ

Q3 好きな絵本、または好きな映画、漫画

「はらぺこあおむし」 エリック・カール 著/絵
「キングダム」 「野原ひろしの昼メシの流儀」

Q4 好きな言葉

「あきらめたら そこで試合終了」 マンガ「スラムダンク」より



AB副担 体育 居駒秀保先生

Q1 思い出の1冊

(中学・高校時代の本で、その本を読んだきっかけや、夏休みに夢中になっていたこと、興味があったことなど……)

夏休み中は、中学校・高校時代とも、あまり読書はせず、部活動(ソフトテニス部……当時は『軟式庭球部』)にあけくれる日々でした。

Q2 今読んでいる本、またはこれから読んでみたい本

時々、「日本国憲法」の解説本などを読んでいます

Q3 好きな絵本、または好きな映画、漫画

「ドラえもん」

Q4 好きな言葉 「世界平和」「共存共栄」

1年副担 体育 丹羽雅之先生

Q1 思い出の1冊

思い出の1冊ではありません。「思い出の映画」です。

学生時代、何度も観にいきました。題名は「生きる」です。昭和27年の制作です。

監督、黒澤明。

映画の中で主人公が「ゴンドラの唄」を口ずさみながらブランコをこぐシーンが心に残ります。

Q2 今読んでいる本、またはこれから読んでみたい本

「デクステリティ 巧みとその発達」 ※ベルシュタイン
ニコライ・アレクサンドロビッチ著/工藤和俊訳 金子書房

スクールカウンセラー 上草公志郎先生

Q1 思い出の1冊 「砂の女」 安部公房 著

Q2 今読んでいる本 桐野夏生の作品

Q3 好きな映画 「ダークナイト バットマン」
善悪とか人間性がいろいろ試される作品です。

Q4 好きな言葉 「STRANGER」

心のふれあい相談員 則敏子先生

Q1 思い出の1冊 「アンネの日記」アンネ・フランク 著

Q2 今読んでいる本、またはこれから読んでみたい本

「子どもにかかわる仕事」 汐見稔幸編

Q3 好きな絵本 小さい頃は「ノンタン」が好きでした

Q4 好きな言葉 「生きてるだけで丸儲け」
どこかで聞いた気が…… (笑)

CD副担 国語 高橋真弓先生

Q1 思い出の1冊

(中学・高校時代の本で、その本を読んだきっかけや、夏休みに夢中になっていたこと、興味があったことなど……)

「ナルニア国物語」 C・S・ルイス 著/瀬田貞二 訳 岩波書店

Q2 今読んでいる本、またはこれから読んでみたい本

「神様の御用人」 浅葉なつ 著 KADOKAWA

Q3 好きな絵本、または好きな映画、漫画

「ぼくを探しに」 シェル・シルバスタイン 著/倉橋由美子 訳 講談社

「夏目友人帳」

Q4 好きな言葉 「塵も積もれば山となる」

ALT JOHN

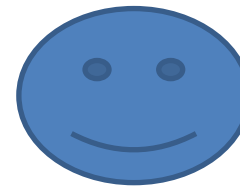
Q1 思い出の1冊 「THE LITTLE PRINCE」「星の王子様」

Q2 今読んでいる本 「THINK AND GROW RICH」

Q3 好きなマンガ 「ONE PIECE」

Q4 好きな言葉 JAPANESE 「いきなり」

ENGLISH PECULIAR 「奇妙な」「摩訶不思議な」



英語 藤本文香先生

Q1 思い出の1冊 「モモ」 ミヒャエル・エンデ著
少女モモと時間泥棒の物語。読むたびに理解が深まるように思えて、小学校から中学生のころ何度も読みました。

Q2 今読んでいる本、またはこれから読んでみたい本

「はじめての英語史」 堀田隆一著 研究社

Q3 好きな絵本 「おおきな木」シェル・シルバスタイン 著/村上春樹 訳 あすなろ書房 シンプルな絵と文で語られる、木と男の子の物語。原作「THE GIVING TREE」と比べながら読むのもおすすめです。

Q4 好きな言葉 「置かれた場所で咲きなさい」 渡辺和子著

Bloom where God has planted you.